

令和5年度

事業報告書



社会福祉法人富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	7
【広報啓発事業】	7
【地域福祉推進事業】	9
【生活支援体制整備事業】	12
【ボランティア活動育成事業】	13
【福祉相談事業】	18
【援護事業】	19
【共同募金運動】	21
【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】	22
【貸付事業】	23
【日常生活自立支援事業】	23
【成年後見支援センター事業】	24
【法人後見事業】	25
【介護サービス事業】	25
【障害サービス事業】	27
【社会福祉センターの運営】	29
【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】	30
【その他の事業】	31
【社協会費・寄附金の募集】	

1. 概要

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の分類が「5類」となり、様々な活動が再開された年となりました。本会においても、新型コロナウイルスにより失われた3年間を取り戻すべく、各種事業に取り組みました。

令和4年9月末をもって終了となった生活福祉資金の新型コロナウイルス特例貸付については、令和5年1月から返済が始まりましたが、返済時期においてなお生活の再建が困難な方からの相談に応じ、償還免除申請や償還猶予申請手続きの支援等のフォローアップを行いました。

また、昨年6月2日の大雨により市内の東部地区において、浸水被害が発生したことに伴い2年前同様「富士市災害ボランティアセンター」を開設し、地元町内会や行政、技術系ボランティア団体と協力しながら被災者の支援を行いました。

さらに、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、2月に石川県中能登町（なかのとまち）の災害ボランティアセンターに職員を派遣し、被災地の復興支援に協力しました。

以下、令和5年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

<令和5年度の重点目標>

1. コミュニティソーシャルワークの実践と地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進
2. 成年後見支援センターの相談及び受任調整機能の充実
3. ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業の推進
4. 障害サービス事業所の計画的な施設整備
5. 職員の確保と定着のための採用・育成力の強化と財源確保

1. コミュニティソーシャルワークの実践と地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

個別支援と地域支援を統合的に進めるコミュニティソーシャルワークの実践については、それぞれの案件に応じて関係各機関やボランティアとの連携を取りながら実践を積み上げることができました。また、住民主体による支えあいの地域づくりを進める取り組みについては、地区担当者が関わる中で複数の地区においてその地区の実情に応じた方法による支えあい活動の仕組みが完成し、具体的な活動として展開されています。

2. 成年後見支援センターの相談及び受任調整機能の充実

判断力の衰えにより日常生活における金銭管理や契約が困難になる高齢者や、知的・精神障害による意思決定の困難な人が増加しているなか、成年後見制度利用が必要な方に対し、その人により適切な後見人等が家庭裁判所において選任されるよう、申立前に専門職による検討会議を行い、今後想定されるライフイベントや生活課題等を確認して、その方に最もふさわしい専門職後見人を推薦する「受任調整会議」を原則毎月開催しました。

30件（前年比2件増）の申立に対する専門職団体の推薦を行い、この受任調整機能に

また、市民後見人による個人受任は11名が継続活動しており、市民後見人らしさを活かした活動で要支援者の地域生活を支えています。

3. ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業の推進

新たに4年間の委託期間となったユニバーサル就労支援センター相談支援グループは、引き続き株式会社東海道シグマと共同事業体として、生活と仕事の相談をワンストップで受け、生活改善を図るために相談者に寄り添いながら相談支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行により経済活動は正常化しましたが、新規相談件数は1,201件にのぼり、コロナ以降も引き続き生活に困窮している世帯が多くあることを実感しました。相談に関しては、居所・債務・障がい・医療・介護等専門的見識が求められる複合的な課題もありましたが、各関係機関と連携を取り支援を展開し、相談者の困りごとを整理しながら、自立のための道筋を立てることができました。

4. 障害サービス事業所の計画的な施設整備

鷹身工芸社の移転先として、現在地の南東に用地を確保し令和6年度中の完成に向けて準備を進めてきました。建築資材や人件費等の高騰もあり、予算を大幅にオーバーすることのないよう、当初の設計を見直すなどコストダウンに努めました。

5. 職員の確保と定着のための採用・育成力の強化と財源確保

採用環境が厳しさを増す中で、本会の社会福祉事業の担い手たる正規職員の確保につきましては、地域福祉事業を担う福祉総合職の新卒採用は必要数が確保できましたが、新たに実施した福祉総合職の経験者採用や障害福祉サービス支援員の採用については必要数に至らず、常勤臨時職員等で充足することとなりました。また、令和4年度に制定した職員育成計画で新たに導入したOJT（職場内訓練）リーダーに対する研修を実施し、経験年数の浅い職員の早期戦力化と中堅職員育成力の強化を図るとともに、介護保険事業及び障害福祉サービス事業については特定処遇改善加算を新たに取得し処遇改善財源にするなど、職員の定着についての取り組みを進めました。

その他、重点目標以外については、昨年9月に実施された富士市社会福祉センター指定管理公募のプレゼンテーションに臨み、田子浦荘・東部市民プラザ・鷹岡市民プラザの5年間と広見荘の1年間の指定管理者として市から指定を受けることができました。

さらに、介護、障害サービス事業所の事業継続計画（BCP）については、感染症への対策やより具体的な災害を想定した見直しを図りました。

以上、令和5年度はコロナ禍で途絶えたつながりの再構築と、それにより表面化した課題への対応を率先して行うとともに、地域共生社会の実現に向けた様々な取り組みを再開した一年となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 R5. 6. 9	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 1 号 令和 4 年度事業報告について 議第 2 号 令和 4 年度決算について (監事監査報告について) 議第 3 号 令和 5 年度補正予算について (第 1 号) 議第 4 号 役員選任候補者の推薦について 議第 5 号 定時評議員会の招集について ○第 2 回理事会の招集手続きについて ○社会福祉協議会会費依頼について
第 2 回 R5. 6. 27	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 6 号 会長、副会長及び常務理事の選定について
第 3 回 R5. 8. 25	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第 1 号 会長及び常務理事職務執行状況報告 議第 7 号 令和 5 年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について 議題 8 号 鷹身工芸社移転新築に伴う土地の取得について 議第 9 号 評議員選任候補者の推薦について 議第 10 号 評議員選任委員会の招集について ○社会福祉協議会会費収納状況について (中間報告)
第 4 回 R5. 11. 24	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 11 号 令和 5 年度補正予算について (第 2 号) 議第 12 号 役員選任候補者の推薦について 議第 13 号 評議員会の招集について
第 5 回 R6. 1. 26	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第 2 号 会長及び常務理事職務執行状況報告 報第 3 号 専決処分の承認を求めることについて (社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定) 議第 14 号 小口資金貸付事業貸付金の欠損処分について 議第 15 号 介護サービス事業利用料の欠損処分について

第 6 回 R6. 3. 18	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○市重層的支援体制整備事業（多機関協働事業）の受託について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について 議第16号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 議第17号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 議第18号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス及び障害者就労支援施設職員給与規程の一部改正について 議第19号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員経理規程の一部改正について 議第20号 令和 5 年度補正予算について（第 3 号） 議第21号 令和 6 年度事業計画について 議第22号 令和 6 年度予算について 議第23号 令和 6 年度役員賠償責任保険契約の締結について 議第24号 評議員会の招集について
----------------------------	------------------------------	---

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第 1 回) R5. 6. 27	市交流プラザ 会議室 1	議第 1 号 令和 4 年度事業報告について 議第 2 号 令和 4 年度決算について (監事監査報告について) 議第 3 号 令和 5 年度補正予算について（第 1 号） 議第 4 号 役員の選任について ○6 月 2 日豪雨水害に伴う災害ボランティア支援センター開設について ○社会福祉協議会会費依頼について

第2回 R5. 12. 14	ファイナンセ東館 ボランティアルーム	議第5号 令和5年度補正予算について（第2号） 議第6号 役員の選任について ○令和6年度採用正規職員の採用試験結果について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告） ○令和5年度歳末たすけあい運動について
第3回 R6. 3. 27	ファイナンセ東館 ボランティアルーム	議第7号 令和5年度補正予算について（第3号） 議第8号 令和6年度事業計画について 議第9号 令和6年度予算について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
R5. 9. 12	ファイナンセ東館 介護相談室	議第1号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
R5. 5. 30	ファイナンセ東館 社協相談室	○令和4年度決算会計及び業務監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
R5. 8. 25	ファイナンセ東館 ボランティアルーム	○令和5年度赤い羽根募金実施計画について ○令和5年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 R5. 6. 6	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第 1 回理事会について ○6 月以降の会議日程について
第 2 回 R5. 8. 22	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第 3 回理事会及び共同募金委員会について ○9 月以降の会議日程について
第 3 回 R5. 11. 21	フィナンセ東館 社協相談室	○第 4 回理事会について ○1 1 月以降の会議等日程について
第 4 回 R6. 1. 23	フィナンセ東館 社協相談室	○第 5 回理事会について ○1 月以降の会議等日程について
第 5 回 R6. 3. 14	フィナンセ東館 社協相談室	○第 6 回理事会について ○3 月以降の会議等日程について

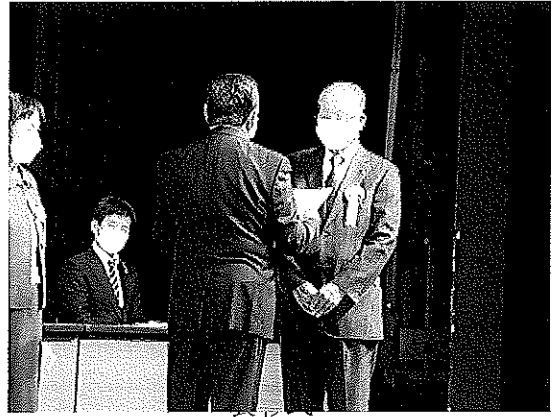
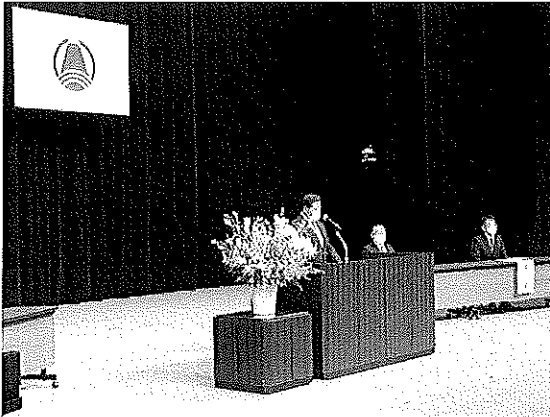
3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉功労者に対し、表彰状及び感謝状の授与式をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月8日(水)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・内容 表彰式 被表彰者等 46人



(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員やボランティアが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

①広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年3回発行した。併せて間違いさがしのコーナーへの応募時に福祉に関するアンケートに答えていただき、市民の福祉に関する実情や動向の把握に努めた。

- ・6/1号 つながりをつなぐために
～アフターコロナを見据えた福祉活動～ 他
- ・10/1号 「助けて」と言える場所を目指して
～被災された方に寄り添う災害支援活動～ 他
- ・新年号 各地区で広がる、支えあいの活動
～住み慣れたまちで、だれもが安心して暮らすために～ 他

広告協賛企業（敬称略）

小松クリニック(医療法人社団青葉会)	3回
アイアール社会保険労務士法人	3回

②ラジオエフの活用

月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズポットCMを毎月1回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

③ウェブサイトの充実

ICT（情報通信技術）時代に応じた見やすいサイトを追求するとともに、わかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

（3）富士市障がい者支援ポータルサイト『はっぴいずむ富士』の運営

ノーマライゼーションの理念に基づき、すべての人が交流やふれあいを通じて「福祉の理解」を深めることを目的とした「市民福祉まつり」の理念を踏襲し福祉情報をSNSで「つなげる」新たなポータルサイト『はっぴいずむ富士』を運営した。また、サイトの周知を目的として会議等の場における投げかけや市内で開催されるイベントにおいてブースを設け、イベントの参加者に向けた啓発活動に取り組んだ。

① はっぴいずむ富士の啓発に関する取り組み

- ・日時：5月28日（日）

会場：広見福祉フェスティバル

内容：体験型ワークショップ、キッチンカー等物品販売、ポータルサイト啓発等

- ・日時：10月30日（月）

会場：自立支援協議会

内容：ポータルサイト啓発等

民児協、町内会での啓発（全26地区）

②はっぴいずむ富士ポータルサイトの運営について

各記事数

ニ ュ ー ス	41件
ギ ャ ラ リ ー	28件
商 品 紹 介	12件
支 援 事 業 者	46件
総 ペ ー ジ 閲 覧 数	14,401件
サイ ト を 訪 れ た 人 数	2,450名

【地域福祉推進事業】

(1) 地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが住みなれた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区に地区担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。また、各地区の実情に合わせ地区内の関係団体等と連携・協働し事業活動を実施した。

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のため、各地区で実施されている活動について情報収集と各地区への発信を行った。また、コロナ禍の状況下でも工夫しながら開催しているサロン等の情報提供をし、各地域でのつながりづくりを推進した。

<正副会長会議>

- | | |
|-----------|---|
| 5月22日（月） | 地区福祉推進会連絡会の開催について
役員の選出および承認に関する方法と手順について |
| 9月25日（月） | 生活支援体制整備事業の取り組みについて
富士市災害ボランティアセンターの活動報告について |
| 12月22日（金） | イラスト等の著作権について
各地区福祉推進会における助成金の執行状況について |
| 2月20日（火） | みつまた会の活動について
重層的支援体制整備事業について |

<全体事業>

- | | |
|----------|--|
| 6月19日（月） | 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
生活支援体制整備事業に関する取り組みについて
コミュニティソーシャルワークの実践について |
|----------|--|

③見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し安否を確認した。

- | | |
|----------|--|
| <富士南地区> | 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施 |
| <吉永地区> | 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施 |
| <富士駅南地区> | 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生月等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成 |
| <富士駅北地区> | 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施 |
| <富士北地区> | 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施 |
| <大淵地区> | 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応 |
| <原田地区> | 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯に訪問
その後は、推進会委員による見守りを実施 |

(2) ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会における高齢者や障がい者等の孤独感の解消並びに介護予防を目的とした取り組み。地域住民が自主的・自発的に取り組めるよう、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場である「居場所」の実現に向けて支援した。

- ・対 象 地域との交流を求める高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 148カ所 (3月31日現在、休止中を除く)

(3) こども食堂への補助

子どもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への支援を実施した。5件の助成金の申請があり助成を実施した。子ども食堂への関わりを通じて子どもを孤立させない地域づくりを支援した。

(4) 未就園児等安否確認支援事業

こども家庭課が行う未就園児等の家庭（富士市に在住する未就園児等のいる世帯で、こども家庭課が訪問する必要があると判断した世帯）訪問の際に、障害者就労支援事業所の製品を提供することで、児童の安否確認及び生活課題の早期発見が円滑に行えるよう支援することを目的に実施。

- ・5月～12月 ラスク160個、クッキー160個を提供

(5) さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みを行い、配達員がひと声かけながら乳酸菌飲料（ヤクルト）を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 最大で週3回

(6) 地域活動団体への助成

- | | |
|--------------------|------------|
| ・地域福祉活動費（町内会）助成 | 2,668,700円 |
| ・民生委員児童委員活動実費弁償費助成 | 439,000円 |
| ・民生委員児童委員協議会活動費助成 | 300,000円 |
| ・女性ネットワーク富士活動費助成 | 100,000円 |
| ・人権擁護委員会助成 | 70,000円 |

(7) コミュニティソーシャルワークの実践

日常のあらゆる困りごとや相談に応じ、個別支援と地域支援を統合的に展開するコミュニティソーシャルワークの具体的な実践のため、地区担当者を支援し共に活動に取り組む圏域担当を配置。地区担当者と情報共有を図りながら相談対応や支援に取り組んだ。また支援にあたっては、市内の各機関や専門職と連携し、チームアプローチでの支援を実践した。

・相談対応件数 105件

相談内容の内訳（複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
孤立	23	メンタル	5
高齢者（見守り）	22	就労	3
困窮	15	高齢者（介護）	3
ボランティア	11	高齢者（認知）	3
家族関係	10	子ども	3
障がい	8	判断能力	2
地域トラブル	6	その他	12

(8) 生活困窮世帯学習支援応援事業

生活支援課が実施する「富士市こどもの学習・生活支援事業」で行う企画イベントを通じて参加者に食品や物品を支給することにより、こどもの学習意欲の向上を図ることを目的に実施。

・第1回（夏期講習） 8月23日（水）

ガーゼハンカチ、コロコロラスク、クッキーを提供

・第2回（冬期講習） 12月27日（水）

バスボムと板ラスク、菓子の詰め合わせを提供

・第3回（面接練習） 1月16日（火）

金のわらじストラップ、だるまのマグネット、パン2種を提供

【生活支援体制整備事業】

(1) 第1層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より※第1層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、モデル地区において地域のお宝（日常的なつながりや支えあい）さがしを実施し、その成果を市民と共有する場として生活支援体制整備事業シンポジウムを開催した。

- ・第1層協議体会議

2月 6日（火） 富士市で始まっている支えあい活動の報告
大淵地区におけるお宝さがしの取組について

- ・生活支援コーディネーター連絡会

6月29日（木） 第2層協議体の進捗状況について
お宝さがし講座について

12月15日（金） 生活支援体制整備事業について
大淵お宝さがし講座について

※第1層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をする者

(2) 地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがあふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと協働し各地区担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

- ・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共に取り組む者

(3) 支えあいのまちづくり活動補助金の実施

地域住民による生活支援活動を支援し、地域共生社会を実現させるための取り組みとして、支えあいのまちづくり活動補助金を創設し、地域住民による生活支援活動の立ち上げに対する支援を実施した。

- ・支えあいのまちづくり活動補助金

富士見台くらし支えあいセンター（富士見台地区） 24,500円

天間くらし支えあいセンター（天間地区） 226,950円

【ボランティア活動育成事業】

（１）ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	28	27	29	29	29	27	29	27	27	26	26	29	333	339
利用者数	440	433	432	405	463	418	399	450	392	399	366	410	5,007	4,838
1日平均	15.7	16.0	14.9	14.0	16.0	15.4	13.8	16.7	14.5	15.3	14.1	14.1	15.0	14.3

① ボランティアのニーズ調整

- ・ボランティア対応 延べ 206人
- ・個人登録者に対する情報発信 延べ 1,996人

② ボランティア保険

- ・加入者数 2,918人
- ・事故対応 5件

③ 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する意見交換を実施した。

- ・奇数月第1金曜日 定例会開催
- ・偶数月最終金曜日 役員会開催

④ ボランティア団体への助成

- ・ボランティア連絡会助成 300,000円
- ・災害ボランティア連絡会助成 200,000円

（２）車いす車両貸出事業

車いす使用者に対して、車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

- ・貸出件数 184件

（３）企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、活動に係る連絡や調整を行った。

- ・対象企業及び事業所 15社

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館している。

- ・開館日 火・木曜日 10:00～12:00
日曜日（障がい児のみ） 10:00～12:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 31人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	128	105	217	268	336	332	271	215	120	205	280	358	2,835	854

<貸館>本来はふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び子育てグループ等の団体に託児や交流のスペースとして貸館を行っているが、令和5年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休館とした。

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア講習会を実施した。

- ・加入団体 11団体
 - 富士市災害救援バイク隊『ペガサス』
 - 富士市アマチュア無線非常通信協力会
 - 災害ボランティアコーディネーター富士
 - 静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部
 - 富士市ボランティア連絡会
 - 静岡県看護協会富士地区支部
 - 富士R B
 - 富士市まとい会
 - 家具やしめ隊
 - 富士市赤十字奉仕団
 - 災害ボランティアコーディネーター富士川
- ・災害ボランティアセンター開設訓練（研修）
 - 1月20日 午前の部 富士市被災者支援ネットワーク会議
 - 午後の部 災害ボランティアセンター運営勉強会

(6) 災害ボランティアセンターの開設

6月2日の大雨により、市内東部地区を中心に床上床下浸水が発生したことから、地元町内会ならびに市や関係機関と連携し、被災された方の困りごとに対応するため、6月3日から8月13日まで「富士市災害ボランティアセンター」を開設した。
(赤い羽根共同募金助成)

・活動内容

①ニーズ調査：

チラシ配布等と共に、町内会役員、東部地域包括支援センター及び社協職員が連携し、浸水被害宅を中心に訪問し困りごとを把握。

②被災世帯へのボランティア活動

ニーズ 69件 延べボランティア活動者数 264名

(7) 災害ボランティアセンター支援に関する連携協定書の締結

自然災害発生時に災害ボランティアセンターを設置・運営する際に、人的・物的な支援を要請するための事前の取り決めを定めた連携協定書を締結した。

・富士市商工会青年部 締結日 9月28日

・市内3ロータリークラブ 締結日 12月12日

(富士ロータリークラブ、富士山吉原ロータリークラブ、新富士ロータリークラブ)

(8) 災害ボランティア活動用資機材の整備

災害時の迅速なボランティア活動を支援するため、活動資機材を整備した。

・災害ボランティア活動用資機材を(福)誠信会敷地に設置している倉庫に追加整備した。(赤い羽根共同募金助成)

(9) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月1回発行される「広報ふじ」やその他「警察だより」「中央病院、蒲原病院だより」「消防署だより」「市議会だより」「お元気ですか」「暮らしの情報」等をCDに吹き込み作成し視覚障がい者に郵送により情報提供した。

・利用者 20人

・協力団体 4団体 (やまびこ5日号、すみれ、C3PO、秋桜)

(10) ボランティア活性化講座

①「はじめようボランティア～何かしたいから一歩前へ～」

本講座では、地域活動やボランティア活動をはじめるきっかけづくり、地域のつながりづくりを目的に開催した。 15名参加

日 時 令和6年3月2日(土) 13:30～15:30

会 場 富士南まちづくりセンター

内 容 ボランティアについて、地域活動者の発表、交流会

②「地域の魅力発信！ 写真の撮り方講座」

本講座では、写真の撮り方の基本を学ぶことを通じて、地域活動をより魅力的に、より楽しく発信し、地域住民による地域づくりの活動をさらに推進することを目的に開催した。 24名参加

日 時 令和6年3月9日(土) 13:30～16:00

会 場 静岡ガスエネリアショールーム富士

内 容 地域活動の魅力発信 「写真の撮り方講座」

講 師 イワサキスタジオ 三間 希子 氏

(11) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 12月19日(火)
- ・委員数 6名

<つながろうプロジェクト実行委員会(サードプレイス)>

- ・開催日 4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、8月22日、9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、2月13日、3月5日(いずれも火曜日)
- ・会 場 フィランセ東館3階ボランティアルーム
- ・内 容 つながろうプロジェクト事業開催に向けての計画と実践
- ・アドバイザー 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 市内の福祉施設等に勤務する職員 12名

<つながろうプロジェクト事業>

- ・開催日 令和6年3月9日（土）13：30～15：45
- ・会場 富士酸素工業株式会社内カフェスペース
- ・内容 フォトコンテスト最終選考会&ワールドカフェ

「だもんで、ふふふ」フォトコンテストと銘打ち、福祉の職場で見つけた“素敵な笑顔”の写真を公募し、入選作をポスター化。最終選考会では、ワールドカフェ方式での職員間の交流を図る。

- ・参加者 市内の福祉施設等に勤務する職員及び関係者 31名

②夏休み福祉なんでも学習

福祉を学ぶ大学生とともに、福祉用具に触れ、ゲームをしながら、「自立」や「自分らしい生活」について考える活動を実施。

- ・参加者 9名

③福祉教育（体験、福祉講話）の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等必要に応じ体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

- ・8校 市内小中学校および高等学校にて

④福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク・白杖	アイマスク	高齢者疑似	点字盤	自助具 (スプーン・箸等)	ボッチャ・ユニボッチャ	サッカーボール	触感体験 など その他
個数	106	144	28	137	60	8	57	2	71
回数	25	12	5	23	5	6	34	2	41

内訳	学 校	17
	地 区	20
	施 設	10
	その他	40

⑤福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

・図書等の貸出

福祉図書	34冊	ビデオ・DVD	3件
CD	8件		

・貸出利用券新規発行者数 2人

【福祉相談事業】

(1) 結婚相談

結婚相談員による結婚に関する相談及び交際の仲立ち（引き合わせ）を行った。

・開所日 毎週水曜日、毎月第1・第3土曜日、第2・第4日曜日

・相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	7	7	8	8	8	8	9	8	8	7	7	93	93
相談件数	164	131	123	173	127	168	118	159	146	120	117	132	1,678	2,013

・新規登録者数 63人（前年60人）

・引き合わせ組数 65組（前年98組）

・引き合わせ成立組数 35組（前年52組）

・結婚成立件数 4組（前年3組）

(2) 心配ごと相談

フィランセ東館1階事務局内にて相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のためには電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数 139件

<内訳> 来所相談 11件 電話相談 128件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	10	13	19	8	13	9	14	17	11	9	6	10	139	460

※重複回答あり

相 談 内 容	件 数	前 年
福祉制度等の利用相談	3	0
福祉サービス等の利用相談	0	0
自立生活についての相談	5	5 7
家庭生活についての相談	4 2	8 2
教育に関する相談	5	1
就労に関する相談	1 0	2 7
医療・健康に関する相談	3	9
虐待に関する相談	1	8
その他	7 0	2 8 8
合 計	1 3 9	4 7 2

【援護事業】

（１）罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	1 0 件	3 0 0, 0 0 0 円
・半焼	1 件	2 0, 0 0 0 円

（２）緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう
5 万円を限度に援護を行った。

・生活援護	1 件	2 0, 0 0 0 円
-------	-----	--------------

（３）児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	1, 4 4 5, 0 0 0 円
・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2, 4 8 0, 0 0 0 円
・児童遊び場設置費助成	2 7 3, 0 0 0 円

＜児童福祉団体への助成＞

・子ども会世話人連絡協議会助成	3 0 0, 0 0 0 円
-----------------	----------------

(4) 障害者援護事業

①福祉機器等リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器やベビー用品を無償で提供していただける方と譲り受けたい方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器やベビー用品を譲りたい方
不用になった福祉機器やベビー用品を必要とする方
- ・費 用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）
- ・物 品 福祉機器・介護用品・ベビー用品
(直接身体に触れる物品は未使用のもの)
- ・実 績 譲ります情報 50件 求めます情報 56件 成立 43件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	25	22	30	29	26	20	42	41	19	18	21	18	311	302

③障がい者福祉団体への助成

- | | |
|-----------------------|----------|
| ・手をつなぐ育成会運営助成 | 300,000円 |
| ・身体障害者福祉会運営助成 | 200,000円 |
| ・視覚障害者福祉会運営助成 | 50,000円 |
| ・聴覚障害者協会運営助成 | 70,000円 |
| ・福祉団体スポーツレクリエーション大会助成 | 30,000円 |

(5) 高齢者援護事業

①高齢者福祉団体への助成

- | | |
|----------------|----------|
| ・ 悠容クラブ連合会助成 | 200,000円 |
| ・ 認知症の人と家族の会助成 | 100,000円 |
| ・ 在宅介護者家族の会助成 | 50,000円 |

(6) ひとり親等援護事業

①ひとり親世帯等生活困窮者自立支援給付事業

生活困窮者自立相談支援事業において、ひとり親世帯等に対して就労支援を行うのに伴い、就労支援の実効性を高めることや生活を維持することを目的に、就労活動に必要な資金及び子どもの養育に必要な資金等の給付を行った。

・給付 1件 40,000円

(7) 交通遺児等援護事業

・交通遺児等入学祝金 10,000円
・交通遺児等見舞金 30,000円
・交通遺児等育英奨学金 156,000円
・交通遺児等育英奨学生進級祝 10,000円

【共同募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、本年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

・実施期間 10月1日 ～ 12月31日

・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町内募金	14,850,000円	14,527,050円
篤志・法人募金	4,824,000円	4,453,152円
街頭募金他	1,500,000円	1,914,077円
合 計	21,174,000円	20,894,279円

(前年同期 20,440,929円)

(2) 歳末たすけあい運動

赤い羽根共同募金運動の一環として「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに、主に低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう支援金の配分を行った。

<配分結果>

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

532世帯	1,445人	7,359,000円
ねたきり	14人	認知症 4人
重症心身障がい児(者)	41人	両親のいない児童 12人

- ・福祉施設利用者

施設	6カ所	里親	6世帯	計	57人	388,000円
合 計						7,747,000円

<募金結果>

・会社職域関係	505,354円
・団体関係	217,728円
・学校関係	24,749円
・個人	76,311円
・たすけあい袋	7,796,200円
合 計	8,620,342円

【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】

生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるユニバーサル就労支援センター相談支援グループを㈱東海道シグマと共同事業体を組織し運営を行った。8名の相談員を配置し相談者の抱えている課題を適切に評価・分析し、その結果を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援をした。また生活福祉資金貸付担当者と連携しながら相談を受け、必要な場合は適切に関係機関へのつなぐとともに、事業の周知に関してはチラシを配布し市民への情報提供を実施。ひきこもり支援では本人が望めば積極的にアウトリーチを行い、情報提供や家族支援に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談件数	111	101	84	104	89	103	102	116	95	88	91	117	1201
プラン作成件数	78	49	34	37	42	23	74	33	39	41	37	24	511
就労支援対象者数	66	38	24	22	28	13	60	21	31	34	27	15	379

【貸付事業】

（１）高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	102件	12,083,119円
-----	------	-------------

<内 訳>

1. 高額療養費	54件	11,000,819円
2. 重度医療費	46件	1,065,510円
3. ひとり親家庭等医療費	2件	16,790円

（２）生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	11件	4,051,000円
・福祉資金（福祉費）	2件	125,000円
・福祉資金（緊急小口資金）	7件	700,000円
合 計	20件	4,876,000円

（３）小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付	14件	545,000円
-----	-----	----------

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行った。

・貸付	60件	1,990,000円
-----	-----	------------

【日常生活自立支援事業】

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員5名 生活支援員21名で対応。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
現利用者数	1 5	2 8	2 0	7	7 0
今年度契約者数	3	2	3	0	8
相談援助件数	2 3 8	4 9 4	4 2 1	1 9 9	1, 3 5 2

【成年後見支援センター事業】

（１）成年後見推進事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として相談援助を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	26	23	22	15	21	23	30	22	19	23	28	31	283	308

＜成年後見制度講演会・個別相談会＞

- ・ 日 時 10月14日（土）9：30～11：00
- ・ 会 場 市役所消防庁舎7階
- ・ 内 容 「知っておきたい成年後見制度～あなたとあなたの大切な人のために～」
柿崎弁護士による成年後見制度についての講話
参加者 30名
- ・ 個別相談会 事前予約で受付した2組の相談
社会福祉士2名で対応

（２）市民後見推進事業

＜市民後見人の研鑽＞

市民後見人候補者22名が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら、身上保護及び財産管理の実際を通じて利用者支援に協力いただいた。

センターはその援助を行い候補者のサポートを行った。

<市民後見人名簿登録者継続研修>

市民後見人候補者へのフォローアップと資質の向上のための継続研修を開催。

7月10日 「高齢者が利用できる入所施設の種類と特徴について」 19名参加

11月6日 「年金制度の概要と仕組みについて」 20名参加

1月19日 「相続について」 18名参加

<市民後見人>

3月末時点で11名の市民後見人が活動している。

<監督人>

合計11名の監督人として市民後見活動の支援を行っている。

(3) 中核機関事業

<受任調整会議の開催>

成年後見制度利用の申立をする方で、親族以外の専門職後見人等を希望される方を対象に受任調整会議を開催し、その方にふさわしい後見人が選任されるよう弁護士・司法書士・社会福祉士による推薦会議を実施した。その検討結果を家庭裁判所富士支部に推薦した。

11回開催 専門職30名を推薦した。

内訳 弁護士 5件、司法書士 11件

社会福祉士 6件、法人 7件、複数 1件

【法人後見事業】

<法人後見受任>

家庭裁判所・行政と協議を行い、市民後見個人受任を見据えた5人を新たに法人後見として受任した。3月末時点で17件を受任している。

【介護サービス事業】

(1) 介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

・利用者延べ人数 3,486人

(事業対象者…153人 要支援…1,010人 要介護…2,323人)

- ・利用者内訳 事業対象者…153 人(4.4%) 要支援 1…365 人(10.5%)
要支援 2… 645 人(18.5%) 要介護 1…934 人(26.8%)
要介護 2… 742 人(21.3%) 要介護 3…276 人(7.9%)
要介護 4… 259 人(7.4%) 要介護 5…112 人(3.2%)
- ・介護認定調査 54 件(富士市…34 件、県内他市町…2 件、県外…18 件)

②訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 3,112 回
(事業対象者…108 回 要支援…590 回 要介護…2,414 回)
- ・利用者内訳 事業対象者…108 回(3.5%) 要支援 1… 318 回(10.2%)
要支援 2… 272 回(8.7%) 要介護 1… 868 回(27.9%)
要介護 2… 449 回(14.4%) 要介護 3… 643 回(20.7%)
要介護 4… 408 回(13.1%) 要介護 5… 46 回(1.5%)

③通所介護事業(富士川デイサービスセンター)

- ・開所日数 310 日
- ・利用延べ人数 7,534 人
(事業対象者…316 人 要支援…248 人 要介護…6,970 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…316 人(4.2%) 要支援 1… 139 人(1.8%)
要支援 2… 109 人(1.4%) 要介護 1…2,532 人(33.6%)
要介護 2…2,373 人(31.6%) 要介護 3… 838 人(11.1%)
要介護 4… 617 人(8.2%) 要介護 5… 610 人(8.1%)

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護

- ・利用者数 28 人
- ・延派遣回数 2,969 回
- ・延派遣時間数 3,150 時間 00 分

②同行援護

- ・利用者数 10 人
- ・延派遣回数 364 回
- ・延派遣時間数 579 時間 45 分

③移動支援

- ・利用者数 6 人
- ・延派遣回数 315 回
- ・延派遣時間数 423 時間 05 分

(3) 介護入門研修事業

介護に関心を持つ介護未経験者に対し、介護の基本的知識や技術の習得を通じ、家庭や地域で介護の担い手として活躍できる人材の育成を行った。

参加者 24名 終了者 23名

(4) 高齢者地域支援窓口事業（富士駅北地区）

高齢者の身近な相談窓口として、富士駅北地区の高齢者地域支援窓口を受託。来所者向けの相談窓口の設置、移動相談、家庭訪問、出前講座等を実施した。

・見守り件数 9件 終了者 3件

(介護保険へ移行3件)

・相談件数 99件

・移動相談 25回 来所者 182人

・出前講座 3回

【障害サービス事業】

(1) 障害者就労支援事業所等の運営

就労継続支援B型事業所9か所、生活介護事業所1か所を運営。利用者に対し、生産活動や創作的活動の機会を提供し、併せて社会生活の向上につながる支援を行った。

4月より新たに6名の富士特別支援学校高等部卒業生を迎え入れたことや新型コロナウイルス感染症が5類に移行し欠席率が低下したことから、報酬費（自立支援給付費）の総額は、前年度実績を1,390万円ほど上回った。

・新規利用者＝計7人（内訳：高等部から＝6人、グループホームから＝1人）

・中途退所者＝計 10 人（内訳：施設入所による＝4 人、他事業所移行による＝3 人、転居による＝1 人、死去による＝1 人、病気による＝1 人）

<就労継続支援B型事業所（9 事業所）>

- ・在籍者数 149 人 男性 85 人 女性 64 人
- ・平均年齢 約 43 歳 最年長 75 歳 最年少 19 歳

事業所名	開設年月日	在籍者数	月平均工賃	主な自主製品等
吉原つくし	S55. 4. 7	19人	10,249円	手染め製品（手ぬぐい等） 名刺印刷
竹の子	S63. 4. 1	20人	10,227円	ビーズ製品 手作り石鹸
ひめな	H8. 10. 1	17人	11,394円	縫製品 苔玉
ふれあいショップ あゆみ	H1. 10. 1	9人	23,415円	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53. 6. 1	12人	13,094円	コサージュ ぽかし・ぷくぷく
市民ふれあい バンク	S58. 8. 1	17人	18,986円	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59. 8. 1	18人	10,977円	花の寄せ植え トールペイント・リメ缶
ふじばら作業所	H1. 4. 1	21人	12,514円	ふじさんキャンドル ぽかし
まつぼっくり	H13. 4. 1	16人	21,019円	手作り菓子各種 （クッキー等）

利用者に支払う授産工賃に関しては、9 か所の就労継続支援B型事業所のうち、前年度の月平均工賃を上回った事業所は5 か所、下回った事業所は4 か所だった。

<生活介護事業所（1 事業所）>

- ・在籍者数 21 人 男性 13 人 女性 8 人
- ・平均年齢 約 31 歳 最年長 60 歳 最年少 19 歳

事業所名	開設年月日	在籍者数	主な自主製品等
オリーブの丘	R2. 4. 1	21人	てすきしおり ぽち袋

利用状況

項 目	広見荘	田子浦荘	東部市民 プラザ	鷹岡市民 プラザ	合 計	前 年
高 齢 者	22,321人	21,522人	23,649人	15,945人	83,437人	76,296人
障がい者	179人	68人	64人	43人	354人	447人
児 童	35人	62人	0人	0人	97人	47人
そ の 他	227人	114人	1,660人	8,241人	10,242人	8,292人
合 計	22,762人	21,766人	25,373人	24,229人	94,130人	85,082人
開 館 日 数	281日	281日	281日	281日		
1日平均利用者数	81人	77人	90人	86人	335人	304人

【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】

(1) 生きがいデイサービス

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週水・金)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週火・木)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週月～土)
・開所日数	健康クラブ	99日
	あったかクラブ	97日
	うららかクラブ	307日
・延利用者数	健康クラブ	886人
	あったかクラブ	1,024人
	うららかクラブ	1,816人

(2) 寄附金

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

(敬称略・単位 円)

① 一般寄附

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	匿名	20,000		本市場中学PTA	5,000
	匿名	5,156		匿名	20,000
	東京六大学 富士山カレッジカップ	63,741		昭和36年度 吉原第三中学校 3年3組卒業生	24,396
	匿名	774		匿名	4,449
	匿名	20,000		東部イベント商業協同組合	30,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		一般社団法人 福祉イベント会	20,000
5	匿名	20,000	8	匿名	35,000
	「富士の型染」グループ	48,000		米山豊秋	121,751
	ハートクラブ	35,500		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	20,000
6	匿名	20,000		吉原聖母幼稚園	62,117
	宗清倶楽部杯チャリティー ゴルフ	9,900		杉山勝	200,000
	平垣八幡町七班	2,116		ADEKA労働組合	20,000
	株式会社開成	50,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	アメリカンフラワー東信支 部静岡ブロック	31,500	9	匿名	20,000
	静岡県東部イベント商業協 同組合	30,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	一般社団法人 福祉イベント会	20,000	10	匿名	20,000
	遊樹小品盆栽	23,900		百の会	9,725
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	8,000
	匿名	831		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
7	匿名	1,942	11	匿名	20,000
	本市場子供会	5,000		富士マンドリンクラブ	45,000

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
11	中央静岡ヤクルト販売株式会社	55,049		諏訪部弘	11,000
	田子浦親交会	55,049		自由空間劇場	10,000
	匿名	30,000		NPO法人楽しいことやら座	30,000
	興亜工業株式会社 代表取締役社長 井上 淳	100,000		匿名	30,000
	偕楽窯会	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	富士伊豆農業協同組合 富士葬祭センター	174,000		匿名	20,000
	チェリーズ	5,000	1	学校法人旭学園 富士調理 技術専門学校	10,776
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		ADEKA労働組合	20,000
	山川工業 而立荘友の会	8,130		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	匿名	20,000		匿名	20,000
12	宗清倶楽部杯チャリティー ゴルフ	20,500	2	山本節子	6,349
	匿名	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	静岡福祉協力会 守屋三枝子	30,000		一般社団法人岳南法人会	300,000
	富士市建設業組合	100,000		匿名	20,000
	匿名	10,000	3	オカリナクラブ風 代表 明石友子	3,101
	匿名	30,000		サロン若松 2	10,790
	稲葉芳典	300,000		坂井達夫	500,000
	川口晴美	10,000		匿名	20,000
	稲葉大輝	20,000		フォークダンスおのわ・ レクダンスMt富士	105,000
	駅北民生OB四ツ葉会	21,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000

84 件

3,339,542 円

②社協各事業への指定寄附

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	まる二 殿岡正美	7,000		原田地区連合町内会	11,810
7	匿名	40,000		まる二 殿岡正美	3,600
8	匿名	500,000		興亜工業株式会社 代表取締役社長 井上 淳	100,000
9	市民福祉まつり実行委員会	1,653,321	12	元吉原地区女性の会	5,000
10	富士吉原ライオンズクラブ	150,000		元吉原地区町内会連合会	35,000
	まる二 殿岡正美	7,000	2	鷹岡地区区長会	43,434
	吉原地区 民生委員児童委員 協議会	30,716		まる二 殿岡正美	6,100
	吉原地区福祉推進会	300	3	ジャトコ株式会社素形材 工場 工場長 加藤直樹	90,130
11	元吉原地区花の会	48,937		富士市福祉事業協力会	217,000
	匿名	100,000			

19 件

3,049,348 円

③交通遺児援護基金指定寄附

月	氏 名	金 額
5	大石恵美	20,000
7	一般社団法人静岡県トラッ ク 協会富士支部富士運輸会	130,000
	富士地区貨物運送事業協同 組合 理事長 吉野正則	300,000

3 件

450,000 円

④くらし・こども支援基金寄附

月	氏 名	金 額
4	清水由美子	100,000
	立光寺	23,011
9	ふじ寿会	650,906

3 件

773,917 円